

第13次幸田町行政改革大綱  
(2023年度～2027年度)

# 幸田町行政改革推進計画

～人にやさしいデジタル社会の構築  
を目指した行政改革～

2023年3月

## 目 次

はじめに	1
1. 策定の背景	2
(1) 行政改革大綱の目的	2
(2) これまでの策定経過	2
(3) 幸田町を取り巻く状況と課題	3
(4) 行政改革の必要性	9
2. 行政改革の方針	10
(1) 計画期間	10
(2) 行政改革の視点	10
(3) 行政改革の方針と重点項目	11
3. 推進体制	14
(1) 行財政改善調査会（外部）による点検・評価	14
(2) 行政改革推進本部（内部）による点検・評価	14
4. 実行プラン	15
(1) 実施目標	15
(2) 実施プランの取組内容	17

## (1) 行政改革大綱の目的

本大綱は、社会経済情勢の変化に的確に対応し、効率的・効果的な業務の遂行や質の高いサービスの提供ができる行政運営を実現するために、行政改革の基本的方向を定めるものです。

## (2) これまでの策定経過

本町が、1985（昭和 60）年度から取り組んできた行政改革については、次のとおりです。

大綱次数	期間（年度）	行政改革の視点、推進事項など
第1次 第2次 第3次	1985～1987 (S60～S62) 1988～1990 (S63～H2) 1991～1993 (H3～H5)	1 事務事業の見直し 2 人事・定員管理の適正化 3 給与の適正化 4 組織機構の簡素合理化 5 民間委託・OA化等の事務改革推進 6 会館等公共施設の管理運営合理化
第4次	1994～1996 (H6～H8)	1 行政組織機構の見直し 2 職員の能力開発と職員参加の推進 3 広域行政の推進 4 新たな経営手法の導入と事務事業の改革 5 多様な協働システムの確立 6 健全な財政運営の推進
第5次	1997～1999 (H9～H11)	1 行政組織機構等及び定数の見直し 2 職員の能力開発と職員参加の推進 3 事務改善等の推進 4 健全財政の維持、効率化
第6次	2000～2002 (H12～H14)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全行動計画[エコ・アクション]</li> <li>・迅速適正行動計画[スピード・アクション]</li> <li>・情報連携行動計画[ネットワーク・アクション]</li> <li>・事業評価行動計画[プロジェクト・アクション]</li> <li>・意識改革行動計画[サービス・アクション]</li> </ul>
第7次	2003～2005 (H15～H17)	巻き起こせ、行革旋風 1 経営改革の嵐 2 電子改革の嵐 3 環境防災改革の嵐 4 公務員サービス改革の嵐

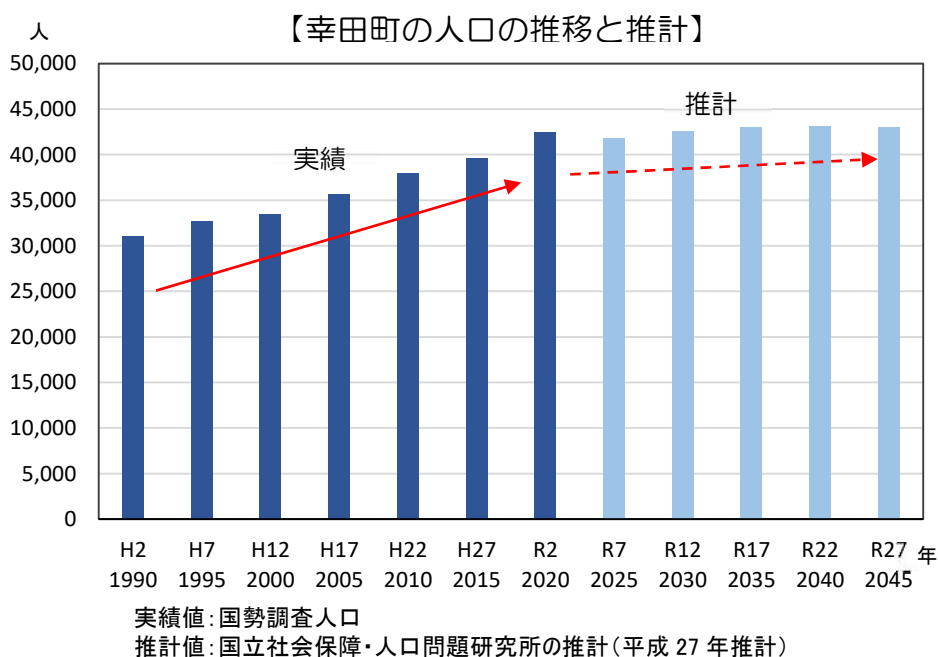
大綱次数	期間（年度）	行政改革の視点、推進事項など
第8次	2006～2008 (H18-H20)	町民のための行政であるために（集中改革プラン） <ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト意識と顧客志向の行政</li> <li>・迅速・利便性のある開かれた行政</li> <li>・町民と町が協働する行政</li> <li>・町民に信頼される行政</li> </ul>
第9次	2009～2011 (H21～H23)	信頼で築く、揺るぎないまち <ol style="list-style-type: none"> <li>1 住民の意識、視点に立った行政サービスの推進</li> <li>2 将来を見据えた、健全な財政運営の推進</li> <li>3 時代の変化に対応した人材の育成及び行政体制の整備</li> </ol>
第10次	2012～2014 (H24～H26)	「確かな力」「誠実な力」による持続可能なまちづくり <ol style="list-style-type: none"> <li>1 イキイキ暮らせるまちの仕組みづくり</li> <li>2 住民からの信頼度を高める行政経営</li> <li>3 選択と集中による事業見直し</li> </ol>
第11次	2015～2017 (H27～H29)	行財政運営の確実な推進を目指して <ol style="list-style-type: none"> <li>1 住み続けたいまちづくり</li> <li>2 人財と資産を無駄なく最大限に活用</li> <li>3 多様な主体との連携・協働</li> <li>4 絶え間ない改善</li> <li>5 強靱な足腰</li> </ol>
第12次	2018～2022 (H30～R4)	持続可能で安定した行政運営を目指して <ol style="list-style-type: none"> <li>1 能力を発揮できる人材と組織づくり</li> <li>2 自立した行政運営</li> <li>3 協働によるまちづくり</li> </ol>

### (3) 幸田町を取り巻く状況と課題

#### ア 人口・高齢者の増加

我が国の人口は減少局面を迎えています。本町は人口が伸び続けており、R2（2022）年の国勢調査では人口42,449人、平成27（2015）年からの増加率は4.5%と、県内第1位、全国第18位の高い伸び率となっています。

国立社会保障・人口問題研究所の推計（平成27年推計）では、令和22（2040）年まで本町の人口増加が続くと推計されています。今後も続く人口増加による行政需要の拡大に対応するとともに、住民が定住したくなるまちづくりを進める必要があります。



#### イ 公共施設の老朽化への対応

町の公共建築物は、高度成長期である昭和40年代から昭和50年代に集中して整備されているため、築30年以上の施設が約4割を占めています。そのため、今後多くの施設で大規模改修や建替えが必要になると予測され、全ての施設の維持更新は難しいため、施設の長寿命化と廃止・統合等の対策が必要となります。

#### イ デジタル化への対応

デジタル技術の進展により、省力化や既存サービスの利便性の向上ならびに新たなサービスの創出が可能となっています。

国も「デジタル・ガバメント実行計画」（令和2年12月25日閣議決定）において、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容をとりまとめ、令和2年

12月に「自治体デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」として策定しました。

本町においても、限られた職員で増加する行政需要に対応する必要があるため、デジタル化を推進し、業務の効率化を図るとともに、人的資源を住民サービスの向上につなげる行政運営を推進する必要があります。

## エ リスクへの対応

新型コロナウイルス感染症による混乱で、様々な影響を社会にもたらしましたが、こうした感染症は今後も発生する可能性があります。また、近年異常気象に伴う自然災害が頻発しており、気候変動の影響で今後も更なる災害の頻発・激甚化が予想されます。

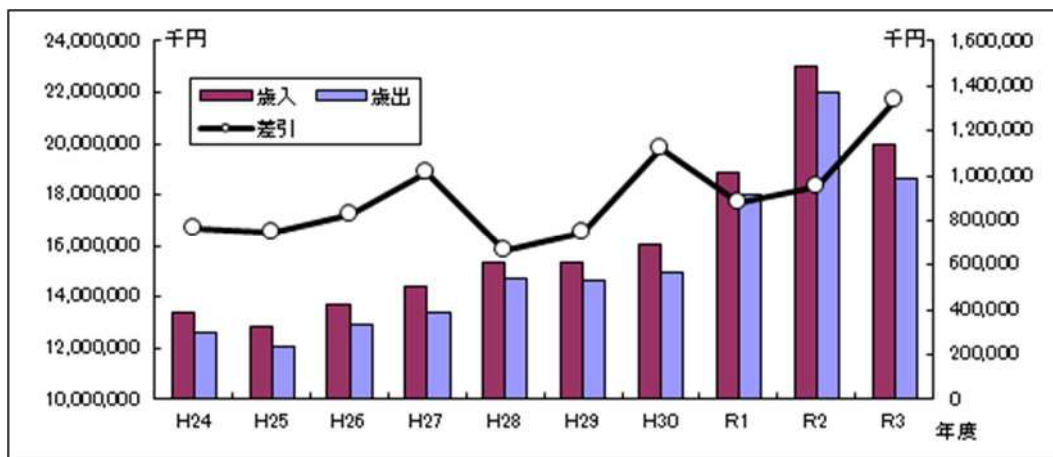
こうした今後予想されるリスクに対する備えを強化し、安全安心な地域を構築する必要があります。

## オ 財政運営の健全化

法人町民税の一部国有化による減収、行政需要の増加による歳出の増加、そして、今後非常に厳しい財政運営が予想されており、さらなる財政運営の健全化が必要であります。

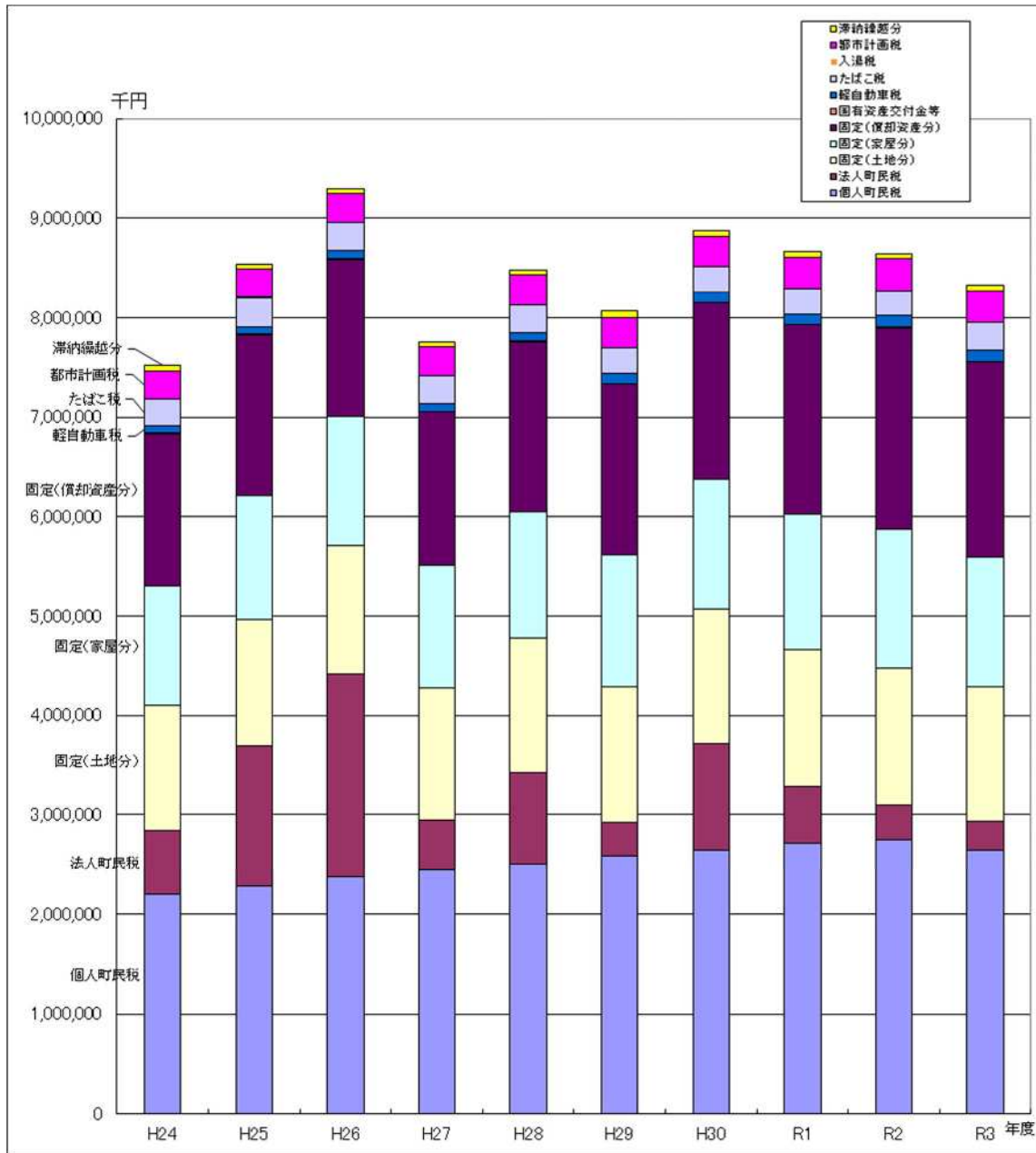
### ■一般会計の推移

人口の増加とともに財政規模は拡大傾向が続いています。特に令和2年度は新型コロナ対策の影響から歳出、歳入ともに大幅に増加しています。



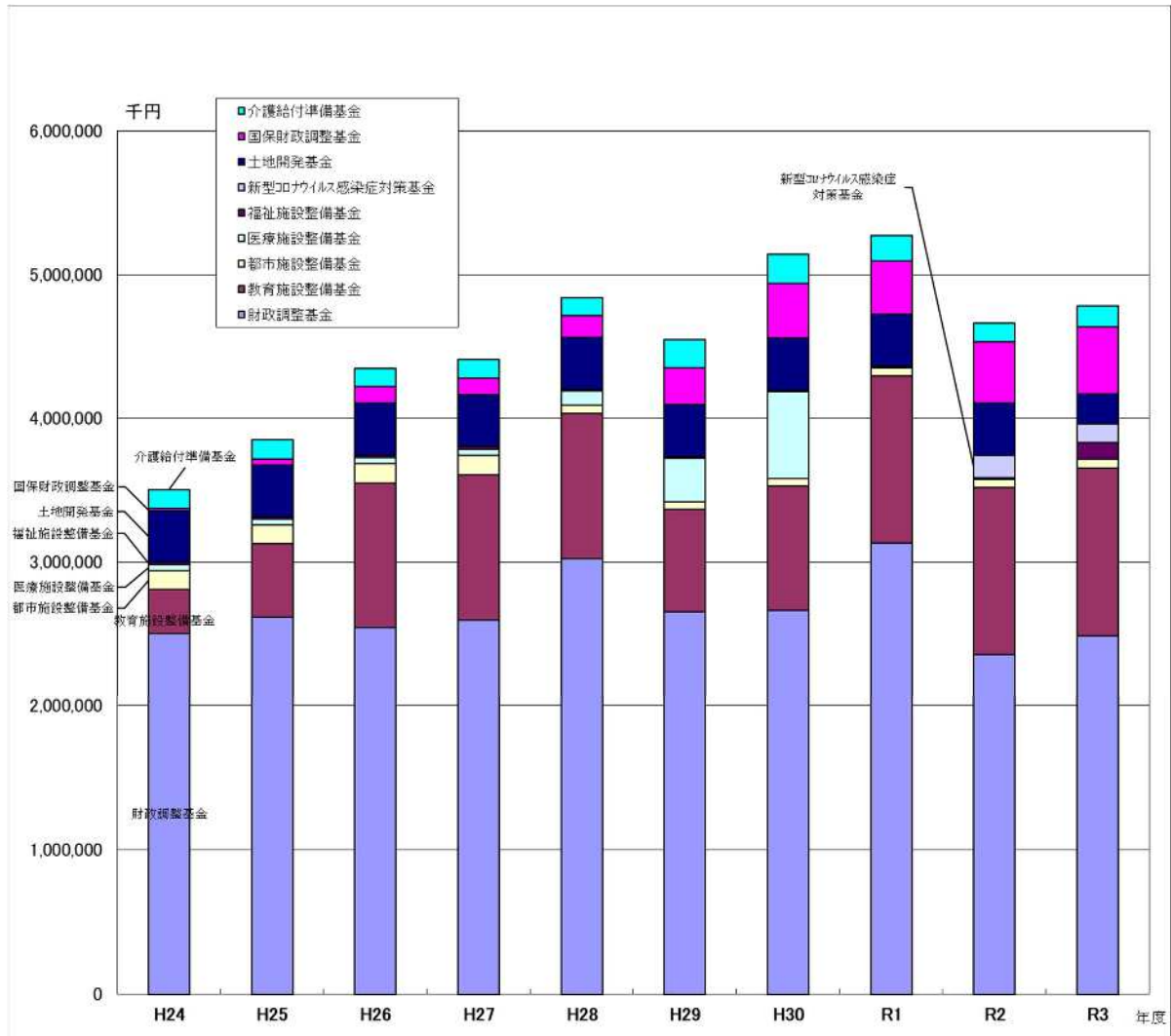
## ■町税の推移

町税収入は、H28年をピークにH27～29年と大幅に減少しています。H30年に一旦増加に転じたものの、それ以降減少傾向が続いています。これは、法人町民税の減少によるもので、H30年以降は年々減少しています。



## ■基金現在高の推移

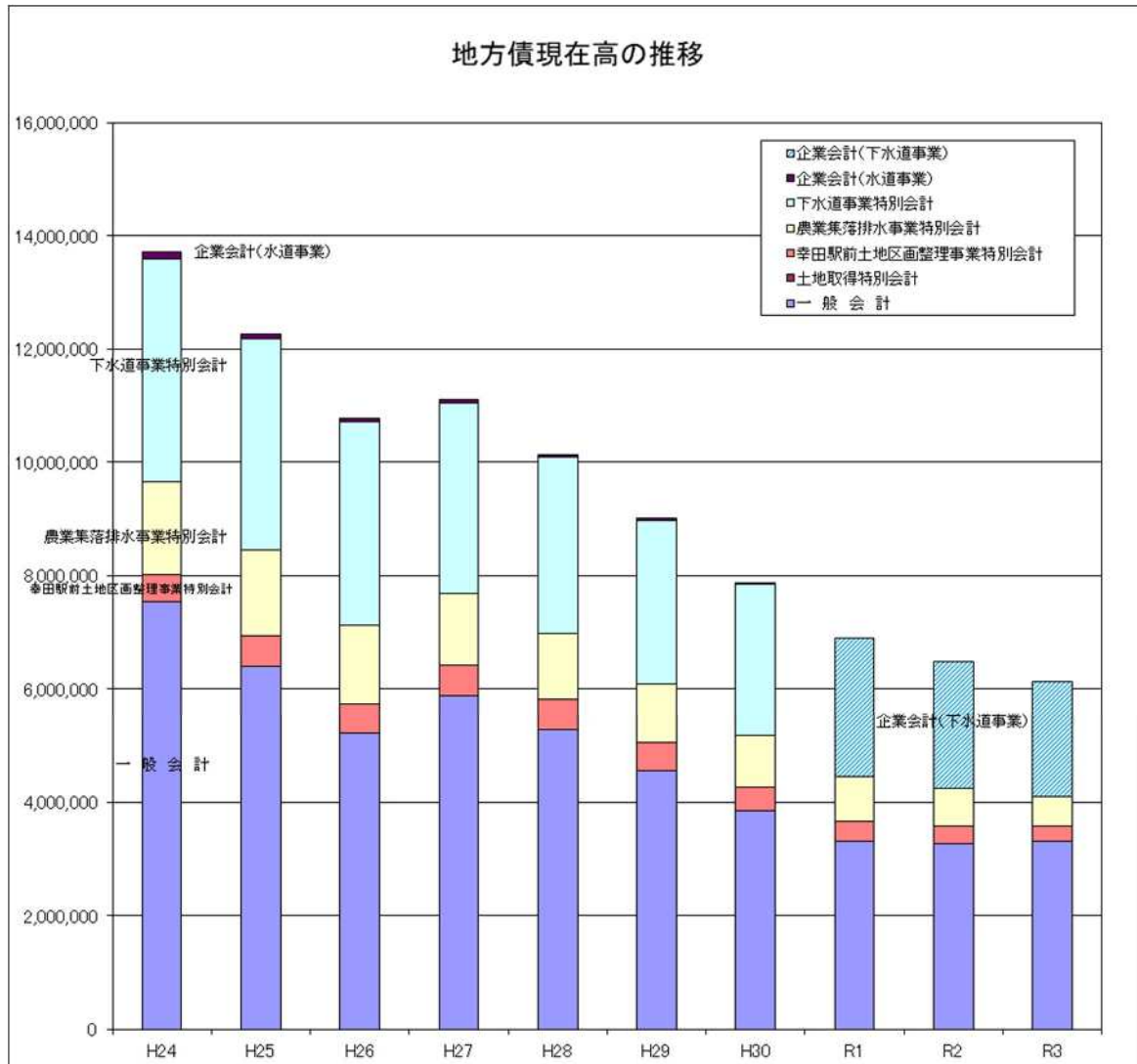
基金には、景気の影響を受けやすい法人町民税の減収等に備え積み立てる「財政調整基金」と、教育施設整備や都市施設整備等の特定目的のために積み立てる「特定基金」があります。法人町民税が減少していることもあり、財政調整基金は、令和元年から2年にかけて大きく減少しています。





## ■ 地方債現在高の推移

地方債は、町の借金にあたるものです。平成27年に一時的増加したものの、平成24年以降に減少しています。これは、一般会計における地方債の減少によるもので、これまで毎年減少を続けています。ただし、令和2年度以降は減少が止まり、横ばいで推移しています。



#### (4) 行政改革の必要性

---

大変厳しい財政状況の中で、今後拡大する行政需要に的確に対応し、持続可能な自治体をめざすには、事業の廃止・縮減と新たな課題に対応する事業の創出・サービスの向上の両立を図りながら、効果的・効率的な行政運営を行う必要があります。

そのために、デジタル技術の活用などによる業務の進め方の改革や人材・資産・財源の最適な活用、それを可能にする職員の能力向上と組織の活性化が必要となります。

そこで、新たにデジタル活用した DX の推進を柱とした行政改革大綱を策定します。

## 2. 行政改革の方針

### (1) 計画期間

計画期間は、R5（2023）年度からR9（2027）年度までの5年間とします。

### (2) 行政改革の視点

効果的・効率的に行政改革の取組を進めていくため、以下の3つの視点を意識して、改革に取り組むものとします。

#### Satisfaction<満足度>

住民の満足度は、自治体施策を評価するうえで重要な視点であり、行政サービスの提供にあたっては、常にそれを意識して取組む必要があります。また、職員が業務に対してポジティブな意識を持つことができればより効果的な施策も可能となることから、住民満足度の高いサービスを提供するためには、職員の満足度を高める職場づくりも重要となります。

#### Slim<削減・簡素化>

増加している業務量の中で、限られた職員で質の高い行政サービスを実現するためには、無駄な業務や手続きの削減・簡素化を進める必要があります。また、限られた財源の中で、増加する行政需要に対応するためには、可能な限り経費を削減し費用対効果を高める必要があります。

#### Smart<効率化・利便性>

デジタル技術等を活用して、事務処理の自動化や業務の標準化により、効率的で利便性の高い行政サービスの提供を可能にするとともに、重要な分野においては、行政の経営資源を投入し、新たなサービスの開発をめざす必要があります。

### (3) 行政改革の方針と重点項目

第13次行政改革は、3つの行政改革の視点を踏まえ、4つの方針とその方針のもとに重点的に取組む項目を設定して、推進します。

#### ア デジタル化の推進

限られた職員で業務の増加に対応するために、行政のデジタル化を推進し、業務の削減・簡素化による行政の効率化をめざします。また、手続きの簡素化や電子申請・届出の導入によって住民の利便性を高めるとともに、アプリやシステムの導入等により新たなサービスを開発するなど、行政サービスの質の向上を図り住民の満足度を高めます。

##### 重点取組項目

- ①サービスの質の向上
- ②業務の効率化・事務量の削減

#### イ 組織の強化・人材育成

仕事の成果を上げるためには、職員の意欲を高め、職員の行動を変える必要があります。そのために、業務量に応じた職員の適正配置を進め職員への過度の負担を無くすとともに、有給や育休の取得を促進するなど、働きやすい職場づくりを進めます。

また、職員の能力開発のための研修の充実や外部の専門的人材の活用などにより、デジタル化を推進するために必要な人材を育成・確保するとともに、複雑化する課題の解決に必要な政策立案力を高めます。

さらに、不正アクセスや自然災害及び人的ミスなどから、庁内で扱う情報の機密性、安全性を確保するために、情報セキュリティ体制を強化します。

##### 重点取組項目

- ①職員定数の適正化
- ②働きやすい職場づくり
- ③人材育成
- ④リスクマネジメント

## ウ 持続可能な財政運営

あらゆる環境変化に対応して将来にわたり安定した財政運営を行うためには、健全財政を維持していく必要があります。そのために、企業誘致や企業留置、ふるさと納税等による税収の確保を図るとともに、事務事業の最適化・削減による歳出削減を進めます。

今後大幅な費用の増加が予想される公共施設の維持管理費については、施設の長寿命化計画のもとで、施設の長寿命化と廃止・統合を検討していきます。

### 重点取組項目

- ①公共施設の長寿命化・維持管理費の削減
- ②事務事業の最適化・歳出削減
- ③財源の確保

## エ 多様な主体との連携の推進

行政が直面する問題はますます多様化・複雑化しており、問題解決には行政の力だけで限界があります。

行政だけではなく、地域組織やNPO、企業など多様な主体が連携して、それぞれの主体の特長を生かし合いながら課題解決に向けて取り組む協働のまちづくりを進めます。また、企業等の民間の技術や資金力を活用する公民連携の動きが広がっており、本町の課題に適した公民連携を検討します。

また、他自治体と共通する課題に対しては、他自治体との広域連携を進め、効果的・効率的な行政運営を進めます。

### 重点取組項目

- ①地域・住民との連携
- ②民間・他自治体との連携

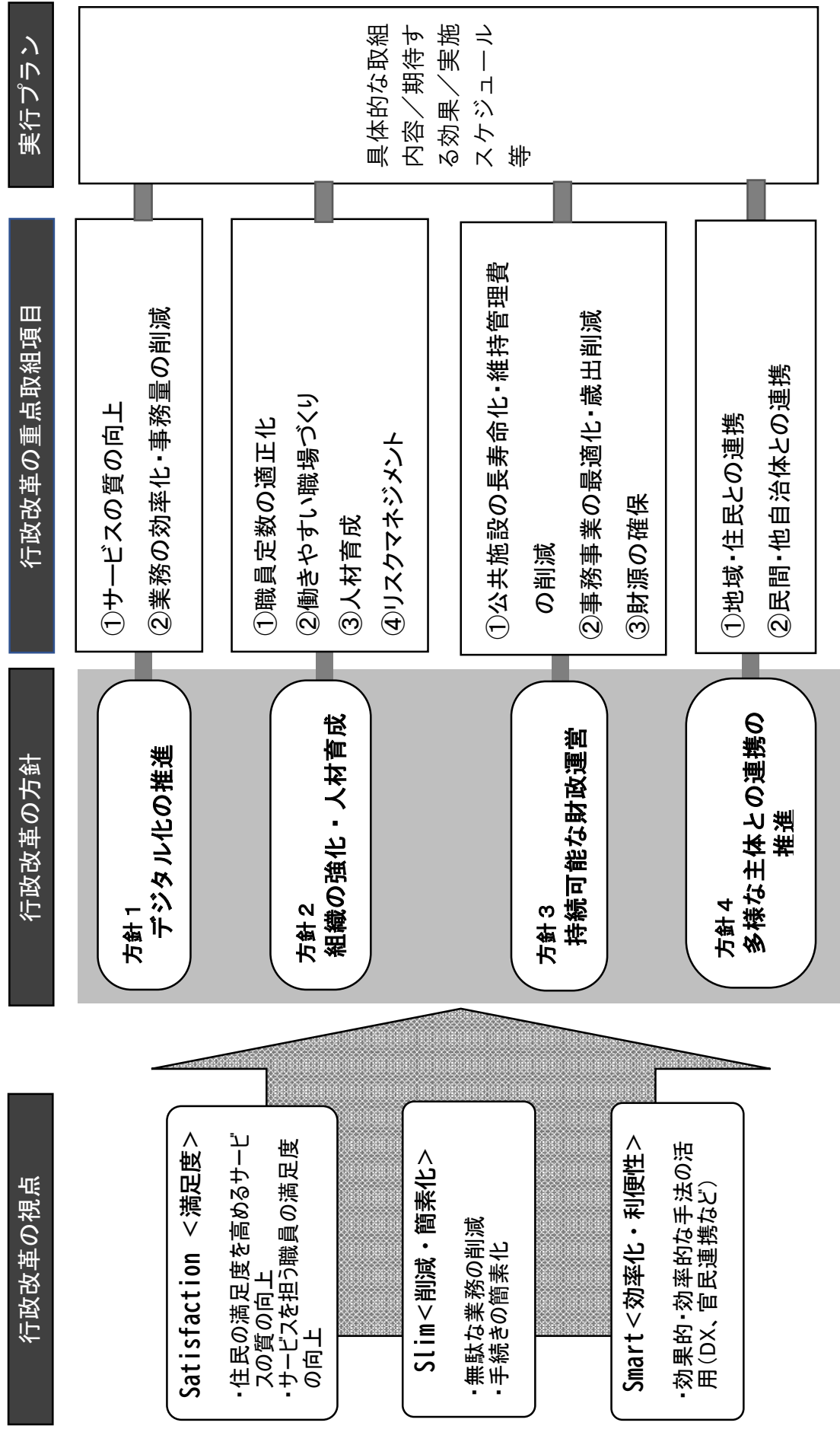
## (4) 第13次行政改革大綱の体系

---

第13次行政改革は、3つの行政改革の視点を踏まえ、4つの方針とその方針のもとに重点的に取組む項目を設定して推進します。

その体系は、次図のとおりです。

# 第1 3次幸田町行政改革大綱の体系



### 3. 推進体制

第13次行政改革を推進するために、重点取組項目別に具体的な取組計画である実行プランを策定して、行革に取り組んでいきます。また、行政改革の進行管理は、外部による点検・評価と内部による点検・評価に基づくPDCAサイクルを回し、その結果はホームページを通じて公表していきます。

実行プランは、デジタル技術の活用や国の施策の動向及び令和5年実施のBPR（業務の抜本的改革）調査の結果により、プランの項目を追加していきます。

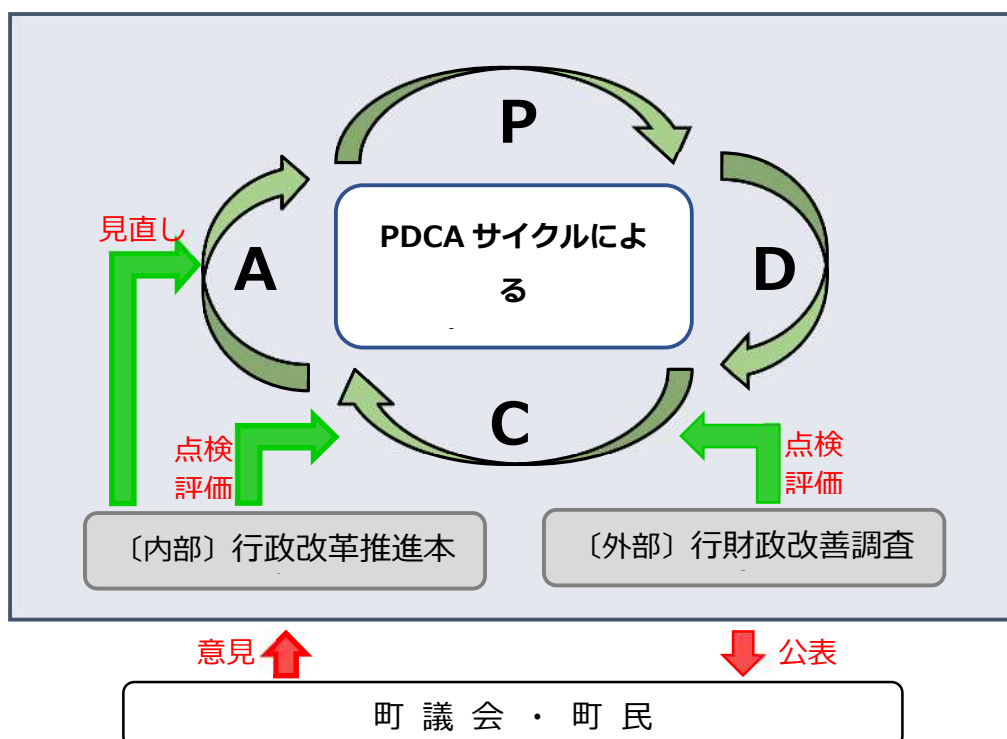
#### （1）行財政改善調査会（外部）による点検・評価

行財政または町民サービスに関わる有識者等で構成する行財政改善調査会に、実行プランの進捗状況を報告し、点検・評価を受けて必要な改善を図りながら推進します。

#### （2）行政改革推進本部（内部）による点検・評価

町長を本部長とし、副町長、教育長及び部長級職員で組織する行財政改革本部に、実行プランの進捗状況を報告して点検・評価を実施し、その結果をもとに必要なプランの見直しを行い、迅速かつ適切に取組を進めます。

【推進体制イメージ】



## 4. 実行プラン

### (1) 実施目標

#### ア デジタル化の推進

##### ①サービスの質の向上

各種申請や届出など、行政手続きのオンライン化や料金の支払いのキャッシュレス化などを進め、デジタル化により利便性の高い窓口サービスの実現をめざします。

また、AIやデジタルを活用した公共交通システムや、SNSを活用した行政情報を含む各種情報の提供など、新規システムの導入により新たなサービスの提供をめざします。

##### ②業務の効率化・事務量の削減

RPA・AI等の活用により、作業時間及び人為的ミス的大幅な削減、アプリやセンサー等の活用により、連絡・監視業務の迅速化や確実性の向上を図るなど、業務の効率性や正確性を高めるとともに、事務量の削減をめざします。

WEB会議やモニターの活用により、ペーパーレス化を推進するとともに、どこでも業務が遂行できる環境の実現をめざします。

#### イ 組織の強化・人材育成

##### ①職員定数の適正化

各部署の業務内容・業務量に対応して、必要な能力を有する適切な職員を適切な人数配置することにより、特定の職員に負担が集中することなく効果的な職員配置を行い、業務の円滑な遂行と残業時間の減少による人件費の適正化をめざします。

##### ②働きやすい職場づくり

職員が不快に感じる環境の改善や誰でもわかる業務の流れの明確化により、働きやすい環境を整備するとともに、子どもを出産しても安心して長く務めることができる就労条件を整備することにより、職員が不安を感じることなく意欲を持って働くことができる職場づくりをめざします。

##### ③人材育成

複雑化・高度化する行政課題に的確に対応するために、専門性の高い人材を育成するとともに、全ての職員に対する効果的な研修制度の充実を図り、自ら学び、課題解決に向けて積極的に取り組む職員の育成をめざします。



#### ④リスクマネジメント

情報システムへの不正アクセス、新型感染症、自然災害などのリスクに対する安全対策とリスク発生時の迅速に対応できる業務手順を整え、どのようなリスクが発生しても確実に業務を遂行できる組織体制をめざします。

### ウ 持続可能な財政運営

#### ①公共施設の長寿命化・維持管理費の削減

公共施設の長寿命化計画に基づき、計画的な予防保全と長寿命化を進め、公共施設のライフサイクルコストの削減を図るとともに、施設の統廃合も含めた施設の適正配置を検討し、公共施設のマネジメントの強化を目指します。

#### ②事務事業の最適化・歳出削減

毎年度、事務事業の効果を検証したうえで、ニーズの変化に対応して行政が担うべき最適な役割を果たすために、事務事業のスクラップ&ビルトを進め、最小の費用で最大の効果が発揮できる行政運営をめざします。

#### ③財源の確保

新規企業の誘致や既存企業の留置を進め、税収の確保を図るとともに、ふるさと納税の拡充などにより、自主財源の確保を図ります。さらに、国の補助金・交付金やクラウドファンディング等を積極的に活用し、事業推進に必要な財源確保をめざします。

### エ 多様な主体との連携の推進

#### ①地域・住民との連携

人口増加に対応した新たなまちづくり、地域資源を活用した魅力づくり、地域の生活環境の守る活動など、地域・住民と連携した取組を進め、住み続けたいくなるまちの実現をめざします。

#### ②民間・他自治体との連携

民間企業等のノウハウや資金力を活用することで、より効率的で質の高いサービスが可能になる事業や周辺自治体と連携することで、事業効果を高めることができる事業などを積極的に推進し、効率的効果的な事業の推進をめざします。

## (2) 実施プランの取組内容

### ア 実施プランの体系

実行プランの個別の取組内容は、下記のとおりです。毎年度の点検・評価の結果や国の施策の動向、事業の熟度の変化などを踏まえて、今後取組の追加などの見直しを行います。

#### 第13次行政改革大綱実行プランの体系

##### <方針1> デジタル化の推進

重点取組項目	取組名	担当課	プラン番号	ページ
①サービスの質の向上	税、料金、各種証明書の発行手数料等のキャッシュレス化	企画政策課	1-1-1	18
	住民窓口サービスの向上	住民課	1-1-2	19
	人間ドック、がん検診、肝炎検査等電子予約・受付システム構築事業	健康課	1-1-3	20
	スポーツ事業の電子化推進	生涯学習課	1-1-4	21
	指定金融機関の検証	出納室	1-1-5	22
	公共交通の見直し	企画政策課	1-1-6	23
	SNSを活用した情報発信の充実	企画政策課	1-1-7	24
	文書管理システムの導入	総務課	1-1-8	25
②業務の効率化・事務量削減	DX推進業務	企画政策課	1-2-1	26
	母子保健事業の業務の効率化、事務量の削減	健康課	1-2-2	27
	保育園へ登園管理システムの導入	こども課	1-2-3	28
	児童クラブ入会申請のデジタル化	こども課	1-2-4	29
	利便向上のための町税の電子納付(QRコード)の利用推進の取組	税務課	1-2-5	30
	農業用排水機場における運転状況等の遠方監視化	産業振興課	1-2-6	31
	消防団活動における出席状況のオンライン化	庶務課	1-2-7	32
	議会へのタブレット端末の導入(議会資料のペーパーレス化)	議会事務局	1-2-8	33

##### <方針2> 組織の強化・人材育成

重点取組項目	取組名	担当課	プラン番号	ページ
①職員定数の適正化	職員の適正な人員配置	人事秘書課	2-1-1	34
	人件費抑制	人事秘書課	2-1-2	35
②働きやすい職場づくり	子育てしやすい職場づくり	人事秘書課	2-2-1	36
	学校トイレ施設の改修	学校教育課	2-2-2	37

③人材育成	職員研修	人事秘書課	2-3-1	38
	火災調査員の育成	予防防災課	2-3-2	39
	女性救急救命士の育成	消防署	2-3-3	40
④リスクマネジメント	情報セキュリティ対策	企画政策課	2-4-1	41
	幸田町業務継続計画に基づいた災害対策の推進	防災安全課	2-4-2	42

### <方針3> 持続可能な財政運営

重点取組項目	取組名	担当課	プラン番号	ページ
①公共施設の 長寿命化・ 維持管理費の削減	公共施設等の適正なマネジメントの推進	総務課	3-1-1	43
	公営住宅等長寿命化計画に基づいた維持保全	都市計画課	3-1-2	44
	橋梁の長寿命化・ライフサイクルコストの縮減	土木課	3-1-3	45
②事務事業の 最適化・歳出削減	障害者福祉サービス受給者証(手帳)のファイル化	福祉課	3-2-1	46
	農業集落排水事業の企業会計導入	下水道課	3-2-2	47
	汚水処理の共同化	下水道課	3-2-3	48
	プライマリーバランスの均衡保持	財政課	3-2-4	49
③財源の確保	企業誘致及び企業留置の推進	企業立地課	3-3-1	50

### <方針4> 多様な主体との連携

重点取組項目	取組名	担当課	プラン番号	ページ
①地域・住民との連携	自主防災会の支援(自主防災組織を強化するツールの作成)	防災安全課	4-1-1	51
	魅力あるまちづくり荻谷地区	区画整理課	4-1-2	52
	森林サービス産業の事業実現化	産業振興課	4-1-3	53
	燃やすごみの減量推進	環境課	4-1-4	54
②民間・他自治体との連携	岡崎西尾地域ごみ処理広域化計画に基づく広域新施設の建設	環境課	4-2-1	55
	コミュニティバス及び庁用バスの民間事業者への委託	財政課	4-2-2	56
	他自治体や民間企業との災害時等における関係構築の推進	防災安全課	4-2-3	57
	公民連携によるまちづくり	企画政策課	4-2-4	58

## イ 実施プランシート

実行プランの個別の取組内容を記載した実行プランシートを、次頁以降に示します。

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進		プラン番号	1-1-1		
重点的取組項目	①サービスの質の向上		担当課	企画政策課		
取組の名称	税、料金、各種証明書の発行手数料等のキャッシュレス化					
取組の目的・取組内容	役場における窓口のキャッシュレス化を推進し、町民の利便性向上及び職員の負担軽減を一体的に推進する					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
キャッシュレス化の検討		→				
システム検証、機器仕様の策定			→			
システム改修/住民への周知				→		
未導入手続きの再検討・導入					→	→
期待する成果	住民の利便性の向上 職員の事務負担軽減					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	DX化推進対策におけるキャッシュレス化の検討			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	キャッシュレス化の実装に向けてのシステム検証、機器仕様の策定			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	システム改修、電子決済事業者との契約、キャッシュレス化について、住民へ周知、導入			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	未導入手続きの再検討→導入			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	未導入手続きの再検討→導入			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進	プラン番号	1-1-2			
重点的取組項目	①サービスの質の向上	担当課	住民課			
取組の名称	住民窓口サービスの向上					
取組の目的・取組内容	人員配置を含む窓口業務の改善等により、町民の負担軽減を図る。					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
調査・研究	→					
可否検討		→				
準備			→			
運用開始				→		
期待する成果	手続きの簡略化等により、待ち時間の短縮が図られる。					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	調査・研究			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	可否検討(必要に応じ次年度予算計上)			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	準備(例規改正等含む)			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	運用開始			
		活動実績				
		評価				
R9年度	活動計画	運用				
	活動実績					
	評価					



第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進		プラン番号	1-1-3		
重点的取組項目	①サービスの質の向上		担当課	健康福祉部健康課		
取組の名称	人間ドック、がん検診、肝炎検査等電子予約・受付システム構築事業					
取組の目的・取組内容	がん検診等の検診予約、受付をデジタル化することにより、受診者の予約の手間を軽減すると共に、従事者の事務の効率化を図ることを目的とする。受診予約、受付に係るシステムの改修(構築)を行う。					
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	
現状課題の洗い出し			→			
健診予約、受付の姿を関係機関で共有			→			
システム改修			→			
本格稼働			→			
期待する成果	受診しやすい環境整備として、受診者自身で受診日時を選択、日程変更調整を行い、予約申込の簡素化ができる。また、事業従事者においては、当日名簿作成、日程変更連絡調整等の事務の効率化を図ることができる。					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
がん検診等の電子予約システム利用率	計画				50%	
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	現状課題の洗い出しをする。近隣市町・導入自治体の状況、現システムや医師会との兼ね合い、個人情報の取扱い等の確認を行う。また、デジタル化に伴って不利益が生じる可能性のある人への対応も検討する。			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	デジタル化による、あるべき健診予約、受付の姿を関係機関で共有する。予測される新たな課題の洗い出しを行う。次年度システム改修に向けた予算化を行う。			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	具体的なデジタル化に向けたシステム改修(構築)を行う。次年度以降の正式稼働に向けて、検証を行う。また、早めに住民向けの周知を行う。			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	電子予約及び受付システムを本格稼働させる。課内職員にもきちんと周知し、スムーズに対応できるようにする。本格稼働後の検証を行い、必要なシステム改修を行う。			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	電子予約及び受付システムを本格稼働させる。課内職員にもきちんと周知し、スムーズに対応できるようにする。本格稼働後の検証を行い、必要なシステム改修を行う。			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進		プラン番号	1-1-4		
重点的取組項目	①サービスの質の向上		担当課	生涯学習課		
取組の名称	スポーツ事業の電子化推進					
取組の目的・取組内容	スポーツ教室等の参加申込みを電子申請化することにより、利用者の利便性を向上、事務負担の軽減を図る。 現行の公共施設予約システムの利用期間が令和8年11月で終了することから、次期予約システムにおいて、施設利用料のオンライン決済化の導入を検討する。					
年度別計画			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
実施項目						
スポーツイベント参加の電子申請化の検討、一部実施			→			
導入可能な全てのスポーツイベント参加の電子申請化を実施				→		
次期公共施設予約システムの検討					→	
次期公共施設予約システムの構築・運用						→
期待する成果	スポーツイベントの参加申込みを電子申請化及び公共施設の利用料支払いをオンライン決済化することにより、利用者の利便向上、職員の事務負担の軽減を図れる。					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
スポーツイベント参加申込み電子申請化	計画		80%			
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	スポーツ教室、大会等のスポーツイベントの参加申込みの電子申請化を検討、実施する。			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	参加申込みが電子申請化できる全てのスポーツイベントに電子申請を導入する。			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	次期公共施設予約システムの検討、施設利用料金の見直しを図る。			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	オンライン決済機能を有した次期公共施設予約システムの選定、構築を行い、令和8年12月1日より供用を開始する。 施設利用料金を変更する場合、条例改正を行う。			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	オンライン決済機能を有した次期公共施設予約システムの選定、構築を行い、令和8年12月1日より供用を開始する。 施設利用料金を変更する場合、条例改正を行う。			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進		プラン番号	1-1-5		
重点的取組項目	①サービスの質の向上		担当課	出納室		
取組の名称	指定金融機関の検証					
取組の目的・取組内容	金融業界を取り巻く環境が大きく変化する中、地方公共団体としても指定金の在り方について社会情勢に合わせた対応が求められており、利便性、経済性、安全性等の観点から次期指定金に相応しい金融機関を総合的に検証する。					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
次期指定金融機関を選定						
次期指定金融機関による業務開始						
期待する成果	指定金業務の利便性・経済性、安全性の向上。 ※派出所開設時間の拡大、手数料の削減、緊急時を含めた安定的な運営等。					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	選定組織を設置し、本町の指定金となることを希望する金融機関の中から、利便性、経済性、安全性等の観点から次期指定金融機関を選定する。			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	交代準備、次期指定金融機関による業務開始(R6.6～)			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	次期指定金融機関による業務実施			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	次期指定金融機関による業務実施			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	次期指定金融機関による業務実施			
		活動実績				
		評価				



第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進		プラン番号	1-1-6			
重点的取組項目	①サービスの質の向上		担当課	企画政策課			
取組の名称	公共交通の見直し						
取組の目的・取組内容	公共交通のあるべき姿を検討し、改善する。 ①えこたんバスのルート ②チョイソコこうたのエリア見直し ③藤田乗合直行タクシーの見直し						
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
地域公共交通計画の策定			→				
具体的な手法等の検討・調整				→			
新たな交通体系の構築,住民への周知					→		
新たな公共交通システムの実施						→	
期待する成果	外出しやすい公共交通体制の構築						
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	計画						
	実績						
進捗状況	R5年度	活動計画	地域公共交通のあるべき姿の検討 →地域公共交通計画の策定(現状調査を含む)				
		活動実績					
		評価					
	R6年度	活動計画	地域公共交通計画に基づいた改善内容における具体的な手法等の検討・調整(庁内、交通事業者)				
		活動実績					
		評価					
	R7年度	活動計画	新たな交通体系の構築。 スタートに向けた町民等との調整及び周知(住民説明)				
		活動実績					
		評価					
	R8年度	活動計画	新たな公共交通システムの実施				
		活動実績					
		評価					
R9年度	活動計画	新たな公共交通システムの実施					
	活動実績						
	評価						

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針		1. デジタル化の推進		プラン番号	1-1-7	
重点的取組項目		①サービスの質の向上		担当課	企画政策課	
取組の名称		SNSを活用した情報発信の充実				
取組の目的・取組内容		既存に加え、新たにSNSツールを使い、情報発信の拡充を図る				
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
公式LINEの検討及び導入		→				
SNS活用方法の研修等			→			
新たな改善点を検証、改善				→		
期待する成果		町内外へのタイムリーな情報発信、幅広い世代への情報提供				
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
フォロワー数	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	公式LINEの検討及び導入 SNS掲載におけるルールの検討及び策定			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	SNS活用方法の研修等			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	活用状況等の現状分析し、新たな改善点を検証			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	検証結果を改善			
		活動実績				
		評価				
R9年度	活動計画	検証結果を改善				
	活動実績					
	評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進	プラン番号	1-1-8			
重点的取組項目	①サービスの質の向上	担当課	総務課			
取組の名称	文書管理システムの導入					
取組の目的・取組内容	文書管理を維持管理できる基盤をつくる。 全庁的な文書管理のルール化を図り、日々発生する行政文書の作成から廃棄に至るまでの流れ(文書のライフサイクル)を適正かつ簡単に管理できるようにする。 情報公開への適切かつ迅速な対応により住民サービスの向上を図る。					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
導入自治体の調査・研究		→				
文書分類表の構築等仕組みづくり			→			
文書管理に関するマニュアル等の作成				→		
文書管理システムの導入、研修の実施					→	→
期待する成果	行政文書の管理がしやすくなる 情報公開への適切かつ迅速な対応 行政文書の適切な管理による文書の保護と住民サービス向上					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	すでに導入している自治体の調査・研究			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	文書事務に沿った文書分類等の構築			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	文書管理に関するマニュアル等の作成			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	職員向け文書管理システムの利用活用による理解を深める研修の実施 文書管理システムの導入 行政文書の維持管理のための点検			
		活動実績				
		評価				
R9年度	活動計画	職員向け文書管理システムの利用活用による理解を深める研修の実施 文書管理システムの導入 行政文書の維持管理のための点検				
	活動実績					
	評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進		プラン番号	1-2-1		
重点的取組項目	②業務の効率化・業務量削減		担当課	企画政策課		
取組の名称	DX推進業務					
取組の目的・取組内容	本町のデジタル化の推進により町民の利便性向上や職員の働き方改革につなげることを目的とする。					
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
業務改革(BPR)の実施方針,DX推進実行プランの策定			→			
業務改善の実施			→			
業務改善の評価及び見直し			→			
期待する成果	ICT等の導入により業務改善及び町民の利便性向上					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
業務削減時間(人件費の削減)	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	町民サービスの向上を図るためのDX推進施策、庁内業務量調査及び業務改革(BPR)の実施方針の策定 BPRにより令和6年度以降のDX推進実行プランを策定			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	業務改革(BPR)の実施方針に従い業務改善の実施①			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	業務改革(BPR)の実施方針に従い業務改善の実施②			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	業務改善の実施したものの評価及び見直し			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	業務改善の実施したものの評価及び見直し			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進	プラン番号	1-2-2			
重点的取組項目	②業務の効率化・業務量削減	担当課	健康課			
取組の名称	母子保健事業の業務の効率化、事務量の削減					
取組の目的・取組内容	母子健康手帳アプリ(子育てモバイル)の導入により、利用者の利便性を図るとともに、業務の効率化を図る。また、母子保健事業の事務にAIOCRを導入し、業務の効率化を図り、事務量の削減を行う。					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
母子健康手帳アプリの導入		→				
申請事務等にAIOCRを導入			→			
講座の申込み予約を可能				→		
乳幼児健診や相談事業の日時変更が可能					→	→
期待する成果	専門職として実施する保健事業以外にそれに伴う事務量が膨大である。職員数も定数に満たないことが多いため、事務の負担が大きい。アプリやAIOCRを導入することにより、DXの推進と事務の効率化や削減ができる。					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	母子健康手帳アプリ(子育てモバイル)の導入による、母子保健事業、子育て情報の配信、アンケート実施			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	申請事務等にAIOCRを導入する			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	アプリで講座の申込み予約ができる			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	アプリで乳幼児健診や相談事業の日時変更ができる			
		活動実績				
		評価				
R9年度	活動計画	アプリで乳幼児健診や相談事業の日時変更ができる				
	活動実績					
	評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進	プラン番号	1-2-3			
重点的取組項目	②業務の効率化・業務量削減	担当課	こども課			
取組の名称	保育園登園管理システムの導入					
取組の目的・取組内容	システムで園児の登園状況の管理を行うとともに保護者からの欠席等の連絡体制を構築することで、保育士の休園等の受付対応に費やす時間を保育へ向けるとともに、登園状況の見える化により保育士間で園児の情報を共有する。					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
システムに関する情報収集、検討		→				
1園へシステムの試験導入			→			
1年間システムを運用及び検証				→		
他園へ展開					→	→
期待する成果	保育士と保護者の連絡に要する負担軽減及び園児の安全確保。					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
システム利用率 (%) = システム利用件数 / 全連絡件数	計画				90%以上	
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	システム導入に関する情報収集、検討。			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	保育園1園にシステムの試験導入。			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	導入から1年間システムを運用及び検証。			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	他園に展開。			
		活動実績				
		評価				
R9年度	活動計画	他園に展開。				
	活動実績					
	評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進		プラン番号	1-2-4		
重点的取組項目	②業務の効率化・業務量削減		担当課	こども課		
取組の名称	児童クラブ入会申請のデジタル化					
取組の目的・取組内容	入会申請のデジタル化による申請者の利便性の向上 入会決定に係る事務負担の軽減					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
オンライン化の検討		→				
システム導入・運用開始			→			
システム運用・改善				→		
児童クラブ他業務のデジタル化拡大検討				→		
期待する成果	入会申請のための来庁不要、24時間受付可能による申請者の利便性の向上 申請の遅延減少、申請窓口等受付業務の軽減 入会関係書類の紙保存の削減 入会決定に係る事務従事時間の削減					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
オンライン申込率	計画					90%
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	入会申請オンライン化の検討			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	入会申請システム導入・運用開始			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	システム運用・改善			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	システム運用 児童クラブ関係他業務のデジタル化拡大検討			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	システム運用 児童クラブ関係他業務のデジタル化拡大検討			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進	プラン番号	1-2-5			
重点的取組項目	②業務の効率化・業務量削減	担当課	税務課			
取組の名称	利便向上のための町税の電子納付(QRコード)の利用推進の取組					
取組の目的・取組内容	<p>令和元年10月から個人住民税(特別徴収分)・法人住民税等の納税は「地方税共通納税システム」の導入により電子納税が開始となり、納税者(事業者)の負担が軽減された。電子納付は、納税者の時間や納付窓口の制約なく納付が可能である。金融機関及び町においても納付に係る事務処理を軽減することが可能になった。また、令和5年度より固定資産税及び軽自動車税の税目にQRコードを追加され、納税手段の拡大に取り組んでおり、今後においても負担軽減に関する取り組みを推進する必要がある。</p> <p>地方税共通納税システムの活用により、納税者と町の事務処理に係る負担軽減や手数料等の経費削減が図れることから利用を推進する。</p>					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
地方税共通納税システムによる収納開始						
QRコードによる電子納付の周知・利用促進						
期待する成果	地方税共通納税システムの活用により、納税者と町の事務処理に係る負担軽減が見込める。 多様な納付方法による収納率向上と経費削減が期待できる。					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
納付方法による 共通納税が占める 割合・%	計画				30%	
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	地方税共通納税システムによる収納の開始 QRコードによる電子納付の周知・利用促進			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	QRコードによる電子納付の周知・利用促進			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	QRコードによる電子納付の周知・利用促進			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	QRコードによる電子納付の周知・利用促進			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	QRコードによる電子納付の周知・利用促進			
		活動実績				
		評価				



第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進		プラン番号	1-2-6			
重点的取組項目	②業務の効率化・業務量削減		担当課	産業振興課			
取組の名称	農業用排水機場における運転状況等の遠方監視化						
取組の目的・取組内容	降雨時における運転及び水位状況等を確認し、各排水機場を早急に効率よく運転及び管理し、維持管理労力の低減を行う。						
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
計画策定			→				
工事施工			→				
事業効果検証			→				
期待する成果	地区内の湛水状況を早急に把握しての運転が可能となり、施設管理者が施設に行く回数を低減でき、緊急対応に要する時間に充てることのできるため、業務の効率化に寄与する。						
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
整備率	計画	100%					
	実績						
進捗状況	R5年度	活動計画	計画策定				
		活動実績					
		評価					
	R6年度	活動計画	工事施工				
		活動実績					
		評価					
	R7年度	活動計画	事業効果検証				
		活動実績					
		評価					
	R8年度	活動計画	事業効果検証・改善				
		活動実績					
		評価					
	R9年度	活動計画	事業効果検証・改善				
		活動実績					
		評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	1. デジタル化の推進	プラン番号	1-2-7			
重点的取組項目	②業務の効率化・業務量削減	担当課	庶務課			
取組の名称	消防団活動における出席状況のオンライン化					
取組の目的・取組内容	消防団員の活動状況の把握・報酬管理を効率化することを目的にシステムを開発する。					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
システム検討		→				
ソフトウェアの開発、試用		→				
運用開始		→				
フィードバック		→				
期待する成果	消防団員は、出勤、訓練、機械器具整備等の実績をシステムに入力することにより、紙ベースの報告の手間が無くなる。消防団からの報告事務が簡素化できるとともに、正確に消防団活動状況を把握することができ、報酬額の算定等も効率化できる。					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	検討			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	ソフトウェアの開発、試用			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	運用開始			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	フィードバック			
		活動実績				
		評価				
R9年度	活動計画	フィードバック				
	活動実績					
	評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針		1. デジタル化の推進	プラン番号	1-2-8		
重点的取組項目		②業務の効率化・業務量削減	担当課	議会事務局		
取組の名称		議会へのタブレット端末の導入(議会資料のペーパーレス化)				
取組の目的・取組内容		①紙代や印刷代などのコストを削減する ②大量の資料をタブレットに集約し、持ち運びを簡素化する。 ③議会資料の印刷や修正作業の軽減により、業務の効率化を図る。				
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
先進地視察、理事者側との協議調整		→				
理事者側と協議調整をしながら実施		→				
期待する成果		議会運営のコスト削減と業務の効率化				
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		計画				
		実績				
進捗状況	R5年度	活動計画	先進地視察、理事者側との協議調整			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	R6年度以降は、理事者側と協議調整をしながら取り組んでいくこととする。 ※議会単独での導入は行わない予定			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	理事者側と協議調整をしながら取り組んでいく			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	理事者側と協議調整をしながら取り組んでいく			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	理事者側と協議調整をしながら取り組んでいく			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針		2. 組織の強化・人材育成		プラン番号	2-1-1		
重点的取組項目		①職員定数の適正化		担当課	人事秘書課		
取組の名称		職員の適正な人員配置					
取組の目的・取組内容		<p>職員を適材適所に配置することにより、職員の意欲・能力の向上を図りながら、業務遂行の実現を図る。そのために必要な新しいスキルや経験を研修等を通じて習得し、定年引上げに伴う高齢期職員の多様な知識や経験の積極的な活用を始め、職員の能力を十分発揮できる体制づくりを目指す。</p> <p>【取組内容】職員の意向調査、職員研修の実施、引継書の徹底、ジョブローテーションの提案</p>					
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
取組内容の実施			→				
期待する成果		職員の能力が十分発揮できる職場の実現					
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	計画						
	実績						
進捗状況	R5年度	活動計画	各課の業務状況の把握と職員の資質向上のための職員研修の実施、職員の意向調査実施				
		活動実績					
		評価					
	R6年度	活動計画	各課の業務状況の把握と職員の資質向上のための職員研修の実施、職員の意向調査実施				
		活動実績					
		評価					
	R7年度	活動計画	各課の業務状況の把握と職員の資質向上のための職員研修の実施、職員の意向調査実施				
		活動実績					
		評価					
	R8年度	活動計画	各課の業務状況の把握と職員の資質向上のための職員研修の実施、職員の意向調査実施				
		活動実績					
		評価					
	R9年度	活動計画	各課の業務状況の把握と職員の資質向上のための職員研修の実施、職員の意向調査実施				
		活動実績					
		評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針		2. 組織の強化・人材育成		プラン番号	2-1-2	
重点的取組項目		①職員定数の適正化		担当課	人事秘書課	
取組の名称		人件費抑制				
取組の目的・取組内容		<p>時間外勤務の適正化及び業務の効率化を図ることで、人件費の抑制を図り、職員の健康を保持するとともに、ワーク・ライフ・バランスの実現を目指す。</p> <p>【取組内容】                  時間外勤務の実態を把握、検証を行い、繁忙期対応職員を活用するなど対策を講じ、業務量の平準化を図る。                  業務の効率化に向けた調査(企画政策課実施)の結果を参考に、業務の効率化を図るための方法を検討し、実施する。</p>				
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
取組内容の実施		→				
期待する成果		人件費抑制 職員の健康保持 ワーク・ライフ・バランスの実現				
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
時間外勤務時間数	計画	※令和5年に設定する予定				
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外勤務の実態把握と検証</li> <li>実態に応じた繁忙期対応職員の配置により、業務量の平準化を図る。</li> <li>全庁の業務効率化に向けた調査(企画政策課実施)の結果と対策における情報を共有し、削減に対する数値目標等計画を次年度策定。</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外勤務の実態把握</li> <li>実態に応じた繁忙期対応職員の配置により、業務量の平準化を図る。</li> <li>業務効率化に向けた調査等を踏まえた目標に対し、執行し検証する。</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外勤務の実態把握</li> <li>実態に応じた繁忙期対応職員の配置により、業務量の平準化を図る。</li> <li>業務効率化に向けた調査等を踏まえた目標に対し、執行し検証する。</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外勤務の実態把握</li> <li>実態に応じた繁忙期対応職員の配置により、業務量の平準化を図る。</li> <li>業務効率化に向けた調査等を踏まえた目標に対し、執行し検証する。</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外勤務の実態把握</li> <li>実態に応じた繁忙期対応職員の配置により、業務量の平準化を図る。</li> <li>業務効率化に向けた調査等を踏まえた目標に対し、執行し検証する。</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	2. 組織の強化・人材育成		プラン番号	2-2-1			
重点的取組項目	②働きやすい職場づくり		担当課	人事秘書課			
取組の名称	子育てしやすい職場づくり						
取組の目的・取組内容	子育てを行う職員の職業生活と家庭生活の両立をより一層容易にし、ワーク・ライフ・バランスの実現を図る。 【取組内容】育児休業等制度と経済的な支援措置の周知 繁忙期対応職員の活用						
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
取組内容の実施			→				
期待する成果	子育てを行う職員の一人一人に合った働きやすい職場づくりの実現						
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
男性育児休業 取得率	計画	16%					
	実績						
進捗状況	R5年度	活動計画	・育児休業の取得促進リーフレットを活用し、育児休業等制度の周知 ・「職員又は職員の配偶者の出産に伴う申出書」の活用により、計画的な育児に伴う休暇・休業の取得促進を図る。 ・育児休業の取得計画に対し、該当部署の業務状況の把握と必要に応じた繁忙期対応職員の配置				
		活動実績					
		評価					
	R6年度	活動計画	・育児休業の取得促進リーフレットを活用し、育児休業等制度の周知 ・「職員又は職員の配偶者の出産に伴う申出書」の活用により、計画的な育児に伴う休暇・休業の取得促進を図る。 ・育児休業の取得計画に対し、該当部署の業務状況の把握と必要に応じた繁忙期対応職員の配置				
		活動実績					
		評価					
	R7年度	活動計画	・育児休業の取得促進リーフレットを活用し、育児休業等制度の周知 ・「職員又は職員の配偶者の出産に伴う申出書」の活用により、計画的な育児に伴う休暇・休業の取得促進を図る。 ・育児休業の取得計画に対し、該当部署の業務状況の把握と必要に応じた繁忙期対応職員の配置				
		活動実績					
		評価					
	R8年度	活動計画	・育児休業の取得促進リーフレットを活用し、育児休業等制度の周知 ・「職員又は職員の配偶者の出産に伴う申出書」の活用により、計画的な育児に伴う休暇・休業の取得促進を図る。 ・育児休業の取得計画に対し、該当部署の業務状況の把握と必要に応じた繁忙期対応職員の配置				
		活動実績					
		評価					
	R9年度	活動計画	・育児休業の取得促進リーフレットを活用し、育児休業等制度の周知 ・「職員又は職員の配偶者の出産に伴う申出書」の活用により、計画的な育児に伴う休暇・休業の取得促進を図る。 ・育児休業の取得計画に対し、該当部署の業務状況の把握と必要に応じた繁忙期対応職員の配置				
		活動実績					
		評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	2. 組織の強化・人材育成		プラン番号	2-2-2			
重点的取組項目	②働きやすい職場づくり		担当課	学校教育課			
取組の名称	学校トイレ施設の改修						
取組の目的・取組内容	学校のトイレの様式化については、現在約50%の洋式化率となっている。今後については様々な対応が必要となり、多目的トイレの設置とともに洋式化率の改善に努めていく。						
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
学校体育館トイレの改修		→					
学校教職員トイレの改修		→					
児童生徒用トイレの改修					→		
期待する成果	児童、生徒及び教職員のトイレを洋式化等に改修することにより、学校の環境改善に努める。また、体育館トイレを改修することにより、避難所機能の向上を図るとともに、学校開放の環境改善に努める。						
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
学校体育館トイレ洋式化率	計画	60%	75%	90%		100%に近づける	
	実績						
進捗状況	R5年度	活動計画	体育館トイレ改修…北部中 学校教職員トイレ改修…南部中、北部中				
		活動実績					
		評価					
	R6年度	活動計画	体育館トイレ改修…荻谷小、深溝小、豊坂小 学校教職員トイレ改修…荻谷小、深溝小、豊坂小				
		活動実績					
		評価					
	R7年度	活動計画	体育館トイレ改修…坂崎小、幸田小 学校教職員トイレ改修…坂崎小、中央小				
		活動実績					
		評価					
	R8年度	活動計画	各小中学校児童生徒用トイレ改修				
		活動実績					
		評価					
R9年度	活動計画	各小中学校児童生徒用トイレ改修					
	活動実績						
	評価						

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針		2. 組織の強化・人材育成		プラン番号	2-3-1	
重点的取組項目		②働きやすい職場づくり		担当課	人事秘書課	
取組の名称		職員研修				
取組の目的・取組内容		<p>常に問題意識を持ち、広い視野と深い見識を兼ね備え、町民に信頼される職員を目指すべく、職員の資質向上を図るとともに、自発的な行動思考力のある人材育成を目指す。</p> <p>【取組内容】研修実施、研修による効果測定を実施</p>				
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
取組内容の実施		→				
期待する成果		職員の資質向上と組織力の強化				
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		計画				
		実績				
進捗状況	R5年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の情報を収集し、職員に情報提供</li> <li>・効果測定の項目の研究</li> <li>・町単独で行った研修について、アンケートを用いた効果測定を実施</li> <li>・町単独で行った研修の効果測定結果をまとめ、報告する。</li> <li>・効果測定の結果や職場における課題を踏まえ、職場の状況に応じた研修を計画する。</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の情報を収集し、職員に情報提供</li> <li>・町単独で行った研修について、アンケートを用いた効果測定を実施</li> <li>・町単独で行った研修の効果測定結果をまとめ、報告する。</li> <li>・効果測定の結果や職場における課題を踏まえ、職場の状況に応じた研修を計画する。</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の情報を収集し、職員に情報提供</li> <li>・町単独で行った研修について、アンケートを用いた効果測定を実施</li> <li>・町単独で行った研修の効果測定結果をまとめ、報告する。</li> <li>・効果測定の結果や職場における課題を踏まえ、職場の状況に応じた研修を計画する。</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の情報を収集し、職員に情報提供</li> <li>・町単独で行った研修について、アンケートを用いた効果測定を実施</li> <li>・町単独で行った研修の効果測定結果をまとめ、報告する。</li> <li>・効果測定の結果や職場における課題を踏まえ、職場の状況に応じた研修を計画する。</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				
R9年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修の情報を収集し、職員に情報提供</li> <li>・町単独で行った研修について、アンケートを用いた効果測定を実施</li> <li>・町単独で行った研修の効果測定結果をまとめ、報告する。</li> <li>・効果測定の結果や職場における課題を踏まえ、職場の状況に応じた研修を計画する。</li> </ul>				
	活動実績					
	評価					



第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	2. 組織の強化・人材育成		プラン番号	2-3-2			
重点的取組項目	③人材育成		担当課	予防防災課			
取組の名称	火災調査員の育成						
取組の目的・取組内容	近年、住民生活の多様化に伴い、火災原因も複雑・多様化し、原因究明は困難性が増している。また、火災件数の減少に伴い、火災調査業務に携わる機会も減り、実務に精通した職員を育成しにくい状況があり、これらの複合的な要因により、業務に対する負担が増大傾向にある。このような状況を踏まえ、火災調査業務に携わる職員の負担軽減等を目的とした、火災調査業務及びこれらに付随する事務の効率化を行う。						
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
火災調査書マニュアルの改訂			→				
火災調査科への入校・研修体制の構築				→			
実技研修の実施					→		
火災調査科への入校・火災調査体制の構築						→	
期待する成果	幸田駅前火災のような大火災が発生したとしても、火災調査に迅速に着手し火災調査書一式を作成することができ、火の流れを知ることによって火災戦闘に役立ち被害の軽減につなげることができる。						
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	計画						
	実績						
進捗状況	R5年度	活動計画	火災調査書マニュアルの改訂⇒事務処理の実効性向上				
		活動実績					
		評価					
	R6年度	活動計画	火災調査科への入校⇒研修体制の構築				
		活動実績					
		評価					
	R7年度	活動計画	過去の事例を基に、実技研修の実施⇒技術の向上				
		活動実績					
		評価					
	R8年度	活動計画	火災調査科への入校⇒火災調査体制の構築				
		活動実績					
		評価					
	R9年度	活動計画	火災調査書マニュアルの見直し				
		活動実績					
		評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針		2. 組織の強化・人材育成		プラン番号	2-3-3		
重点的取組項目		③人材育成		担当課	消防署		
取組の名称		女性救急救命士の育成					
取組の目的・取組内容		女性救急救命士の育成を図り、その現場活動により、多種多様化する救急業務に柔軟に対応する。					
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
広報活動の実施			→				
女性救急救命士の育成			→				
期待する成果			職場のコミュニケーションが活性化され働きやすい職場環境、職員の質の向上へとつながり、住民に対するサービスの質の向上が期待できる。				
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
人	計画					2	
	実績						
進捗状況	R5年度	活動計画	広報活動等の検討				
		活動実績					
		評価					
	R6年度	活動計画	広報活動を実施 女性救急救命士1人の育成を図る。				
		活動実績					
		評価					
	R7年度	活動計画	女性救急救命士の広報活動の検討				
		活動実績					
		評価					
	R8年度	活動計画	女性救急救命士の広報活動の検討・実施				
		活動実績					
		評価					
	R9年度	活動計画	女性救急救命士の広報活動の実施 女性救急救命士1人の育成を図る。(2人目)				
		活動実績					
		評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	2. 組織の強化・人材育成		プラン番号	2-4-1		
重点的取組項目	④リスクマネジメント		担当課	企画政策課		
取組の名称	情報セキュリティ対策					
取組の目的・取組内容	自治体DX推進計画等に基づき、デジタルに関連する事業が推進される事により、危険や損失を最も効率よく回避するためのリスクマネジメント知識を習得する。					
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
業務改革(BPR)の実施方針,DX推進実行プランの策定			→			
職員研修①				→		
職員研修②					→	
期待する成果	セキュリティ対策を講じることで情報漏洩等のリスクを抑える。					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
セキュリティ研修の実施回数	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	(仮称)幸田町デジタル推進方針の策定に伴い、セキュリティ対策についてのガイドラインを策定。			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	セキュリティのガイドラインに沿って、職員研修等の具体的なカリキュラムの策定を実施。			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	職員研修①			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	職員研修②			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	職員研修③			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	2. 組織の強化・人材育成		プラン番号	2-4-2		
重点的取組項目	④リスクマネジメント		担当課	防災安全課		
取組の名称	幸田町業務継続計画に基づいた災害対策の推進					
取組の目的・取組内容	幸田町業務継続計画の修正や、計画に基づいた研修等を実施することによって、大規模災害に対する事前対策の促進や、職員への意識付けを行う。					
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度
幸田町業務継続計画の更新			→			
職員研修			→			
期待する成果			事前対策により、大規模災害発生時において、迅速かつ効率的な対応を実施することが可能となり、復旧・復興を早め、住民サービスを早期再開することができる。			
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
職員研修の実施回数	計画	2	2	2	2	2
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	幸田町業務継続計画を修正し、職員研修を実施する。			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	幸田町業務継続計画を修正し、職員研修を実施する。			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	幸田町業務継続計画を修正し、職員研修を実施する。			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	幸田町業務継続計画を修正し、職員研修を実施する。			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	幸田町業務継続計画を修正し、職員研修を実施する。			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	3. 持続可能な財政運営		プラン番号	3-1-1		
重点的取組項目	①公共施設の長寿命化・維持管理費の削減		担当課	総務課		
取組の名称	公共施設等の適正なマネジメントの推進					
取組の目的・取組内容	公共施設等(コミュニティ施設)の適正管理のためのルール策定を行う。					
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	
公共施設等総合管理計画見直しの方向検討			→			
公共施設等総合管理計画の見直し				→		
施設の適正管理のルールを策定					→	
施設の適正管理					→	
期待する成果	公共施設等(コミュニティ施設)保有の最適化、長寿命化による、財政負担の軽減					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	公共施設等のマネジメントの総合的な方針として、公共施設等総合管理計画(H27策定)の見直しが求められているため、専門家の意見等を踏まえ、見直しの方向性を定める。			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	公共施設等総合管理計画の見直しを行う。			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	見直し後の公共施設等総合管理計画に基づき、コミュニティ施設の適正管理のためのルールを策定する。			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	策定したルールに基づきコミュニティ施設の適正管理を行う。			
		活動実績				
		評価				
R9年度	活動計画	策定したルールに基づきコミュニティ施設の適正管理を行う。				
	活動実績					
	評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針		3. 持続可能な財政運営		プラン番号	3-1-2	
重点的取組項目		①公共施設の長寿命化・維持管理費の削減		担当課	都市計画課	
取組の名称		幸田町公営住宅等長寿命化計画に基づいた維持保全				
取組の目的・取組内容		町営住宅の安全・安心な利用と効率的な維持管理・保全を目的に策定した「幸田町公営住宅等長寿命化計画」(令和2年度～令和11年度)に基づいた町営住宅の予防的な修繕及び計画に沿った更新を実施する。				
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
長寿命化計画に基づいた計画的な修繕・更新		→				
期待する成果		計画的に町営住宅の修繕・更新を実施することにより、町営住宅の長寿命化と安全性の確保及びライフサイクルコストを平準化することができる。				
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		計画				
		実績				
進捗状況	R5年度	活動計画	町営住宅の長寿命化計画に基づいた計画的な修繕・更新及び随時発生する修繕の実施			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	町営住宅の長寿命化計画に基づいた計画的な修繕・更新及び随時発生する修繕の実施			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	町営住宅の長寿命化計画に基づいた計画的な修繕・更新及び随時発生する修繕の実施			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	町営住宅の長寿命化計画に基づいた計画的な修繕・更新及び随時発生する修繕の実施			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	町営住宅の長寿命化計画に基づいた計画的な修繕・更新及び随時発生する修繕の実施			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針		3. 持続可能な財政運営		プラン番号	3-1-3	
重点的取組項目		①公共施設の長寿命化・維持管理費の削減		担当課	土木課	
取組の名称		橋梁の長寿命化・ライフサイクルコストの縮減				
取組の目的・取組内容		定期的な橋梁の点検と修繕を行うことにより、橋梁の長寿命化を図りライフサイクルコストを削減するとともに、橋梁の安全を確保する。				
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
橋梁点検		→				
橋梁修繕		→				
期待する成果		早期に修繕必要箇所を発見し修繕することにより、劣化を防ぎ橋梁の長寿命化を図りライフサイクルコストが縮減する。				
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
橋梁点検(橋)	計画	63	27	66	120	120
	実績					
橋梁修繕(橋)	計画	1	1	1	2	2
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	橋梁点検63橋 橋梁修繕1橋 過去に点検を行ってない橋梁の調査取りまとめ。			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	橋梁点検27橋、過去の点検未実施橋梁 橋梁修繕1橋			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	橋梁点検66橋 橋梁修繕1橋			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	橋梁点検120橋 橋梁修繕2橋(点検結果による)			
		活動実績				
		評価				
R9年度	活動計画	橋梁点検120橋 橋梁修繕2橋(点検結果による)				
	活動実績					
	評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	3. 持続可能な財政運営		プラン番号	3-2-1	
重点的取組項目	②事務事業の最適化・歳出削減		担当課	福祉課	
取組の名称	障害者福祉サービス受給者証(手帳)のファイル化				
取組の目的・取組内容	<p>【目的】障害者福祉サービス受給者証発行事務の軽減                  【内容】障害者福祉サービス受給者証は、A4サイズ(シール紙)に印刷したものを、職員が手帳サイズに切り取り、受給者へ送付し、自身で手帳に貼り付ける作業をしていた。それを、A4サイズで印刷した様式(普通紙)を送付し、ファイル管理することで、事務量の削減等を図るもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者(児)受給者証発行件数 504冊(R5.2.1)</li> <li>・地域生活支援事業受給者証発行件数 150冊(R5.2.1)</li> </ul>				
年度別計画			R5年度	R6年度	R7年度
実施項目					
関係者調査・他自治体事例確認			→		
ファイル管理への移行			→		
期待する成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受給者証発行作業の簡素化(切り取り作業→パンチのみ)</li> <li>・手帳やシール紙の経費削減(現状約270円/冊→ファイル約100円/冊)</li> <li>・受給者証の早期発送(印刷時のパンチですぐ発送できる。)</li> </ul>				
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
受給者証のファイル化件数	計画			全受給者のファイル化(約700件)	
	実績				
進捗状況	R5年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受給者、福祉サービス事業者、相談支援事業所から意見の聞き取り</li> <li>・他市町村事例の確認</li> <li>・受給者証保管用ファイルのデザイン等検討</li> </ul>		
		活動実績			
		評価			
	R6年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新規受給者からA4サイズでの受給者証発行し、ファイルによる管理へ移行</li> <li>・既存受給者証保有者への周知</li> </ul>		
		活動実績			
		評価			
	R7年度	活動計画	令和6年度以前に受給者証を取得した人について、順次ファイルへ移行		
		活動実績			
		評価			
	R8年度	活動計画	令和8年度中に全受給者証のファイル化完了		
		活動実績			
		評価			
	R9年度	活動計画	ファイル化完了		
		活動実績			
		評価			



第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	3. 持続可能な財政運営		プラン番号	3-2-2		
重点的取組項目	②事務事業の最適化・歳出削減		担当課	下水道課		
取組の名称	農業集落排水事業の企業会計導入					
取組の目的・取組内容	令和6年度から、農業集落排水事業において将来の安定的、かつ、効率的な経営を実現するために地方公営企業法を一部適用(財務規定のみ)した公営企業会計を導入する。					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
システム構築、移行事務手続き		→				
公営企業会計の実施		→				
期待する成果		経営成績や財政状態の明確化及び固定資産管理についての的確に把握することが可能となり、安定的かつ効率的な経営が見込まれる。				
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
		計画				
		実績				
進捗状況	R5年度	活動計画	システム構築、移行事務手続きを実施。			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	公営企業会計へ移行。			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	公営企業会計の実施。			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	公営企業会計の実施。			
		活動実績				
		評価				
R9年度	活動計画	公営企業会計の実施。				
	活動実績					
	評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針		3. 持続可能な財政運営		プラン番号	3-2-3		
重点的取組項目		②事務事業の最適化・歳出削減		担当課	下水道課		
取組の名称		汚水処理の共同化					
取組の目的・取組内容		現在稼働中の農業集落排水施設7地区を廃止し、公共下水道に接続する。 ※町内13地区の内、逆川・高力・大草は接続済み。新永・須美・山永井は農業集落排水施設を継続する。					
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
接続工事の実施			→				
期待する成果		汚水処理の共同化による、維持管理費の削減。					
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
接続地区数・地区	計画	1	3	5	7		
	実績						
進捗状況	R5年度	活動計画	坂崎・荻地区の公共下水道接続に必要な工事を実施。 (坂崎地区はR5・6年度で実施)				
		活動実績					
		評価					
	R6年度	活動計画	坂崎・長嶺久保田・野場・六栗地区の公共下水道接続に必要な工事を実施。 (野場・六栗地区はR6・7年度で実施)				
		活動実績					
		評価					
	R7年度	活動計画	野場・六栗地区の公共下水道接続に必要な工事を実施。 (野場・六栗地区はR6・7年度で実施)				
		活動実績					
		評価					
	R8年度	活動計画	R8年度に桐山・上六栗地区の公共下水道接続に必要な工事を実施し、7地区の公共下水道接続を完了。				
		活動実績					
		評価					
R9年度	活動計画	7地区の公共下水道接続を完了。					
	活動実績						
	評価						

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針		3. 持続可能な財政運営		プラン番号	3-2-4	
重点的取組項目		②事務事業の最適化・歳出削減		担当課	財政課	
取組の名称		プライマリーバランスの均衡保持				
取組の目的・取組内容		町債の新規発行額を償還額以下に抑える。				
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
元利償還額＞町債発行額 の達成		→				
期待する成果		義務的経費(起債償還)の支出を減少させ、財政運営の弾力性を確保する。				
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
プライマリーバ ランス	計画					元利償還額＞町 債発行額
	実績					
進 捗 状 況	R5 年度	活動 計画	元利償還額＞町債発行額 の達成			
		活動 実績				
		評価				
	R6 年度	活動 計画	元利償還額＞町債発行額 の達成			
		活動 実績				
		評価				
	R7 年度	活動 計画	元利償還額＞町債発行額 の達成			
		活動 実績				
		評価				
	R8 年度	活動 計画	元利償還額＞町債発行額 の達成			
		活動 実績				
		評価				
	R9 年度	活動 計画	元利償還額＞町債発行額 の達成			
		活動 実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	3. 持続可能な財政運営		プラン番号	3-3-1			
重点的取組項目	③財源の確保		担当課	企業立地課			
取組の名称	企業誘致及び企業留置の推進						
取組の目的・取組内容	安定財源の確保や雇用を創出するため、拡大工業地区での工業団地開発や多様な分野の企業誘致に取り組む。						
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
愛知県企業庁による開発地区の承認			→				
造成工事の詳細設計					→		
造成工事及び分譲に向けての業務						→	
期待する成果	企業誘致及び企業留置を推進し、安定財源の確保や雇用を創出する。						
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	計画						
	実績						
進捗状況	R5年度	活動計画	長嶺地区工業団地開発について、開発構想を具体化し、愛知県企業庁の開発に必要な要件を揃え、愛知県企業庁に開発検討地区として承認される。				
		活動実績					
		評価					
	R6年度	活動計画	長嶺地区工業団地開発について、愛知県企業庁による開発地区として承認される。				
		活動実績					
		評価					
	R7年度	活動計画	造成工事に向け、愛知県企業庁と連携し、詳細設計等の業務を進める。				
		活動実績					
		評価					
	R8年度	活動計画	愛知県企業庁と連携し、造成工事及び分譲に向けての業務を進める。				
		活動実績					
		評価					
	R9年度	活動計画	愛知県企業庁と連携し、造成工事及び分譲に向けての業務を進める。				
		活動実績					
		評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針		4. 多様な主体との連携			プラン番号	4-1-1	
重点的取組項目		①地域・住民との連携			担当課	防災安全課	
取組の名称		自主防災会の支援(自主防災組織を強化するツールの作成)					
取組の目的・取組内容		自主防災組織において災害発生時にツールを確認することで、専門的知識を有していなくても、誰でも初動時の任務を整理し、優先すべき行動が確認できるようにするため。					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
ツールや手法を検討		→					
ツールを作成		→					
ツールの導入・活用		→					
期待する成果		災害発生時における自主防災組織の初動時の任務を確認できるようにすることで、リーダーが不在であっても混乱せずに活動することが可能となる。					
数値目標		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
避難ツール導入 区数	計画			7	15	23	
	実績						
進捗 状況	R5 年度	活動計画	各種ツールを他市町村へ視察等を実施し導入するツールや手法を検討協議				
		活動実績					
		評価					
	R6 年度	活動計画	自主防災組織を強化するツールを作成する。				
		活動実績					
		評価					
	R7 年度	活動計画	自主防災組織の活動に導入して活用することで、課題を確認する。				
		活動実績					
		評価					
	R8 年度	活動計画	各区自主防災組織に導入し、活用する。				
		活動実績					
		評価					
	R9 年度	活動計画	各区自主防災組織に導入し、活用する。				
		活動実績					
		評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	4. 多様な主体との連携		プラン番号	4-1-2			
重点的取組項目	①地域・住民との連携		担当課	区画整理課			
取組の名称	魅力あるまちづくり荻谷地区						
取組の目的・取組内容	荻谷土地区画整理事業を核とした協働によるまちづくりを地元準備委員会、組合設立後は組合と共に進める。また、本事業と合わせた幹線道路の整備を進め、安全で魅力あるまちづくりを実現する。						
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
事業計画及び概略設計		→					
事業認可及び組合を設立			→				
換地設計				→			
道路実施設計、用地補償及び仮換地指定					→		
期待する成果	荻谷地区に新市街地としての土地区画整理事業により、人口増を期待すると共に、町の中心部にふさわしい利便性と豊かな居住性を兼ね備えた、安全で質の高いまちづくりを実現する。						
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
	計画						
	実績						
進捗状況	R5年度	活動計画	荻谷地区土地区画整理事業の事業計画及び概略設計を進める。				
		活動実績					
		評価					
	R6年度	活動計画	荻谷地区土地区画整理事業の地権者本同意を得ると共に、県との協議を進め、年度末には事業認可及び組合を設立する。				
		活動実績					
		評価					
	R7年度	活動計画	仮換地指定に向けた換地設計と合わせ、商業施設の誘致・配置計画の調整を進める。				
		活動実績					
		評価					
	R8年度	活動計画	荻谷土地区画整理事業と合わせ、本地区への交通アクセスの要となる幹線道路(国道248号荻西野交差点改良、町道幸田荻線の両側歩道設置)の道路実施設計を進める。				
		活動実績					
		評価					
R9年度	活動計画	荻谷土地区画整理事業の仮換地指定をし、本地区への交通アクセスの要となる幹線道路(国道248号荻西野交差点改良、町道幸田荻線の両側歩道設置)の用地補償を進める。					
	活動実績						
	評価						

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	4. 多様な主体との連携		プラン番号	4-1-3		
重点的取組項目	①地域・住民との連携		担当課	産業振興課		
取組の名称	森林サービス産業の事業実現化					
取組の目的・取組内容	健康、観光、教育等の多様な分野で森林空間を活用して、地域における新たな雇用等を生み出すことができ、地域が主体となった持続可能な取組を図るため、森林空間を利用した森林サービス産業を町内において事業化する。					
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	
森林サービス産業の実現可能性調査			→			
森林サービス産業の具体化検討				→		
事業対象区域の決定、事業区域整備					→	
期待する成果	森林サービス産業により健康、観光、教育等の多様な分野で森林空間を活用して、地域における新たな雇用や収入機会を生み出すことができ、地域が主体となった持続可能な取組が図られる。					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
事業区域数	計画				1カ所	
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	町全体における森林サービス産業の実現可能性調査及び方向性検討			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	森林サービス産業の具体化検討			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	事業対象区域の決定、事業区域整備			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	事業対象区域の決定、事業区域整備			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	事業対象区域の決定、事業区域整備			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	4. 多様な主体との連携		プラン番号	4-1-4			
重点的取組項目	①地域・住民との連携		担当課	環境課			
取組の名称	燃やすごみの減量推進						
取組の目的・取組内容	プラスチック使用製品廃棄物のリサイクル強化及び生ごみ処理容器等設置費補助金の利用促進、食品ロス削減推進により、燃やすごみの減量を図る。						
年度別計画 実施項目			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
プラスチック使用製品廃棄物の分別開始			→				
生ごみ処理容器等設置費補助制度の拡充、制度の周知			→				
食品ロス削減推進計画の策定			→				
食品ロス削減運動の周知・啓発			→				
期待する成果	燃やすごみを減量することにより、ごみ処理に係る費用と環境への負荷の低減を図ることができる。						
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
処理しなければならぬごみの1人1日当たりの量	計画				525g/人・日(令和10年度)		
	実績						
進捗状況	R5年度	活動計画	・プラスチック使用製品廃棄物の分別開始 ・生ごみ処理容器等設置費補助制度の拡充 ・食品ロス削減推進計画の策定 ・フードドライブ等の食品ロス削減運動の周知・啓発				
		活動実績					
		評価					
	R6年度	活動計画	・生ごみ処理容器等設置費補助制度の周知・啓発 ・フードドライブ等の食品ロス削減運動の周知・啓発				
		活動実績					
		評価					
	R7年度	活動計画	・生ごみ処理容器等設置費補助制度の周知・啓発 ・フードドライブ等の食品ロス削減運動の周知・啓発				
		活動実績					
		評価					
	R8年度	活動計画	・生ごみ処理容器等設置費補助制度の周知・啓発 ・フードドライブ等の食品ロス削減運動の周知・啓発				
		活動実績					
		評価					
	R9年度	活動計画	・生ごみ処理容器等設置費補助制度の周知・啓発 ・フードドライブ等の食品ロス削減運動の周知・啓発				
		活動実績					
		評価					



第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	4. 多様な主体との連携		プラン番号	4-2-1		
重点的取組項目	②民間・他自治体との連携		担当課	環境課		
取組の名称	岡崎西尾地域ごみ処理広域化計画に基づく広域新施設の建設					
取組の目的・取組内容	<p>岡崎市八帖クリーンセンター1号炉と西尾市クリーンセンターの2施設が耐用年数を迎えることから、これらの施設を集約した広域新施設を現西尾市クリーンセンターに建設し、2030年度の供用開始を目指すものである。</p> <p>なお、2030年度以降は、新施設と幸田町がごみ処理を委託している岡崎市中央クリーンセンターを併せた2施設で燃やすごみを処理することとなり、その運営方法は2市1町(岡崎市・西尾市・幸田町)で今後検討していく。</p>					
年度別計画		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
実施項目						
廃棄物処理施設整備基本計画策定		→				
環境影響評価		→	→			
事業者選定			→	→		
実施設計・建設工事					→	→
期待する成果	ごみ処理施設の広域化により、環境負荷の低減、エネルギーの有効利用、施設の大規模化による建設費、運営経費等のコスト削減の効果が期待できる。					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物処理施設整備基本計画策定</li> <li>・環境影響評価</li> <li>・測量・土壌・地質調査</li> <li>・事業者選定</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境影響評価</li> <li>・事業者選定</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業者選定</li> <li>・管理棟等解体工事</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計</li> <li>・建設工事</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施設計</li> <li>・建設工事</li> </ul>			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	4. 多様な主体との連携		プラン番号	4-2-2		
重点的取組項目	②民間・他自治体との連携		担当課	財政課		
取組の名称	コミュニティバス及び庁用バスの民間事業者への委託					
取組の目的・取組内容	現在、コミュニティバスであるえこたんバスと、町の行事等で利用する庁用バスについては、職員を雇用、バス車両を購入し、運行管理を職員が実施しているが、事務量が多いことに加え、運転手や車両の予備を確保しておくことが難しく、運転手の感染症や車両の故障で突発的に運行できない事態が生じている。また、利用頻度が低くても車両を保有する必要がある。					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
民間事業者の委託についての調査		→				
コミュニティバスの民間委託の実施			→	→	→	→
庁用バスの民間委託の実施				→	→	→
更新のタイミングで民間の車両を使用			→	→	→	→
期待する成果	事務の大幅な削減に加え、運転手や車両を多く確保している民間事業者に委託することで、計画どおりの運行が期待できる。また、教育を受けた運転手による運行となることで、安全性や顧客対応の満足度の向上が期待できる。					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	民間事業者の委託についての調査			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	コミュニティバスについて民間委託を実施 車両の更新のタイミングで車両についても民間のものを使用			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	庁用バスについて民間委託を実施 車両の更新のタイミングで車両についても民間のものを使用			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	順次車両の更新のタイミングで車両についても民間のものを使用			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	順次車両の更新のタイミングで車両についても民間のものを使用			
		活動実績				
		評価				

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	4. 多様な主体との連携		プラン番号	4-2-3			
重点的取組項目	②民間・他自治体との連携		担当課	防災安全課			
取組の名称	他自治体や民間企業との災害時等における関係構築の推進						
取組の目的・取組内容	すでに防災に関する協定を締結している民間企業を訪問し、協定内容や新たに追加する事項の有無等を確認することで、改めて顔の見える関係を構築する。 西三河9市1町で締結している相互応援協定を基に、問題の共有や解決に向けた取組を実施することで、西三河という地域で連携し、広域的な防災対策を進める。						
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
民間企業の訪問		→					
他自治体と連携した取組み		→					
期待する成果	民間企業と顔の見える関係を構築することで、災害発生時に、迅速かつ多様な支援を受けることができる。 西三河9市1町で連携することにより、防災に関して広域的な課題に取り組み、情報共有することで、広域的な防災対策の推進につながる。						
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
9市1町での連携会議	計画	4	4	4	4	4	
	実績						
進捗状況	R5年度	活動計画	・民間企業の訪問 ・9市1町での連携会議等				
		活動実績					
		評価					
	R6年度	活動計画	・民間企業の訪問 ・9市1町での連携会議等				
		活動実績					
		評価					
	R7年度	活動計画	・民間企業の訪問 ・9市1町での連携会議等				
		活動実績					
		評価					
	R8年度	活動計画	・民間企業の訪問 ・9市1町での連携会議等				
		活動実績					
		評価					
	R9年度	活動計画	・民間企業の訪問 ・9市1町での連携会議等				
		活動実績					
		評価					

第13次幸田町行政改革大綱実行プラン

行政改革の方針	4. 多様な主体との連携		プラン番号	4-2-4		
重点的取組項目	②民間・他自治体との連携		担当課	企画政策課		
取組の名称	公民連携によるまちづくり					
取組の目的・取組内容	企業等の民間の技術や資金力を活用する公民連携を進め、まちの課題解決に向けた取組、事務事業の歳出削減を図ることに加え、SDGsや環境保全などを考慮したまちづくりを行うことから持続可能なまちを目指す。					
年度別計画 実施項目		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
企業等との連携可能性調査		→				
企業等との連携内容や協定締結などに関する相談・対応		→				
連携事業に対応する所管課との調整		→				
PPP/PFIの勉強会等の実施		→				
期待する成果	民間のノウハウなどを活用することから、既存の運営方法の改善や無駄の少ない効率的な事業展開が期待できる					
数値目標	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
	計画					
	実績					
進捗状況	R5年度	活動計画	企業等との連携可能性調査、相談対応、所管課との調整 PPP/PFIの勉強会等の実施			
		活動実績				
		評価				
	R6年度	活動計画	企業等との連携可能性調査、相談対応、所管課との調整 PPP/PFIの勉強会等の実施			
		活動実績				
		評価				
	R7年度	活動計画	企業等との連携可能性調査、相談対応、所管課との調整 PPP/PFIの勉強会等の実施			
		活動実績				
		評価				
	R8年度	活動計画	企業等との連携可能性調査、相談対応、所管課との調整 PPP/PFIの勉強会等の実施			
		活動実績				
		評価				
	R9年度	活動計画	企業等との連携可能性調査、相談対応、所管課との調整 PPP/PFIの勉強会等の実施			
		活動実績				
		評価				

